

帝京大学
専門職大学院
だから
できること。



帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 Teikyo University Graduate School of Public Health

どんな人が入学しているか？

• 年齢25-50歳くらい、通年男女比はほぼ同じ（今年は女性多数）

• バックグラウンドは多種多様

医師

小児科（産婦人科）
内科（糖尿病内科、腎臓内科）
麻酔科（麻酔科部長）、産婦人科

マーケティング会社

製薬会社社員
マスコミ関連（医療ライター）
NPO職員

大学教員

香蓮大学
管理栄養士養成大学

コメディカル

看護師、産業保健師、臨床工学技師、
医療事務、栄養士

帝京大学SPHを選んだ理由（MPH編）

◆これまでの経験からスキルアップをしたいと考えた

- 問題解決能力を養い、地域の多くの問題を解決したい。
- 自身の研究や、後輩の指導のために研究デザインや、生物統計の勉強をし、色々な立場の人の意見を聞き、自分の世界を広げたい。
- 社会に役立てるスキルを身につけたい。
- 疫学を深く学びたい。
- マーケティングとコミュニケーションスキルを健康教育に使いたい。
- メディアの多様化で医療情報が変化しているため、時代にふさわしいヘルスコミュニケーションを追求し、社会に還元したい。
- 女性や看護職が活躍する世の中へ貢献する人間になりたい。
- 青年海外協力隊で活動している中で、現地で起きている問題を論文や数値で表現していく能力を学びたいと思ったから

帝京大学SPHを選んだ理由（MPH編）

◆資格を取得したい

- 国際保健でMPHが必須だから。
- 一年でMPHを取得し卒業出来るから。

帝京大学SPHを選んだ理由（MPH編）

◆本学の授業の魅力

- Dr. Kawachiの授業が受けられるから。
- 5分野の最新の知見を学ぶため。

帝京大学SPHを選んだ理由（DPH編）

◆研究で困ったときに、相談できる場所が得られる

- 先生方に疫学・統計学について相談ができる。
- 勤めながら通学したいという自分のニーズに合う。
- 病院に隣接していて、院内業務や研究が行いやすい。
- 公衆衛生の専門家としての明確な目標設定がされている。

帝京大学SPHを選んだ理由（DPH編）

◆その他

- 学生・先生ともに多様性があり、**刺激的で新しい発見**ができる。
- 自分の中に、**軸が必要**と感じたから。
- 学位が欲しい。

入学前に準備したこと

◆環境整備

- 退職を見据えて、仕事を徐々に減らした。
- 上司、同僚、部署、家族への根回し。理解促進。
- 上司に一年間の休養の許可をもらった。
- 貯金
- 引越準備

「基礎生物統計学」の本を読んでおく



◆英語と統計の勉強

- 統計の本を読んだ。
- ハーバード特別講義を受けた。

入学前に準備したこと 資金編



- 初年度の授業料は一括払い 100～130万円（合格通知後一ヶ月以内）
- 引越代 30万円前後（敷金、礼金、家賃、家具など）
- 十条で一人暮らしすると 20万円/月
- 研究費の見積もり 30万円前後（海外フィールドをご検討の方）
- 奨学金・保険料・税金などを調べておく（支給時期や給付の種類は複数あり）

MPH1年（内科医師）



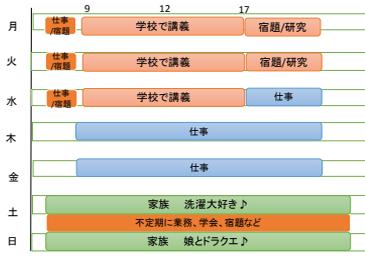
MPH1年（独身ナース）



DrPH1年（独身大学助教、研究員）



DPH1年目（37歳製薬企業勤務、妻、娘1人）



授業中の活発な討論



サブグループ発表



ジャーナルクラブ



自主勉強会



外部の先生をお招きした魅力的な講義も。

地域保健学 山本真先生
 (山梨県地域活性化推進アグリビジネス支援事業地域コーディネーター)



高橋先生（国際保健）と愉快的仲間たち



研究テーマも多種多様

ポジティブ意識とは？
意識が与える健への影
響の普及

患者、医療者間の
医療コミュニケーションの
在り方

JANISを用いた
薬剤耐性菌のサーベイ
ランスの評価

児童虐待ハイリスク症
例に対する支援の在り
方

効率化による手術件数
増加に関する研究

高齢透析患者における
身体活動向上と心血管
合併症の改善

パラグアイ、サンホア
キン市における
健康問題

術中呼吸管理の
麻酔覚醒時間への影響

小児IBD患者
における栄養管理

卒業後のfuture plan

◆学んだことを実践の場（仕事）で活用

- 医療ライターとして、今よりもっと、日本の公衆衛生に貢献できるような情報発信をしている予定。
- 今の仕事に役立つと考えて受講を決めたため、今の業務を、さらに深く遂行して行きたい。（製薬会社の方）
- 医師会活動の中で、統計、保健医療を活かす
- 産業保健師に戻ります。
- 現職継続しながら、ダブルワークとして、起業、もしくは、NPOのような団体設立し活動 など。
- 診療所や総合病院の中で、学んだ知識・スキルを活かす

卒業後のfuture plan

◆まだまだ学び足りません

- まだ学び足りないので進学しつつ起業もしたい。
- 研究を続ける
- 留学したい

◆その他

- 会社でしばらく働き3人目出産後退職、起業する。
- 研究、論文を、自分と指導した後輩も含めて10本目標

学生から見た帝京公衆衛生大学院の特徴

- 学生間、学生・先生間の距離の近さ
- 学生の熱意・向上心（自主勉強会）
- 問題解決型の課題研究
- 指導教官・アカデミックアドバイザー・サブグループ制
- 講師陣の充実
- 普段関われない人々と交流ができる（個人ネットワークの拡大）
- ハーバード特別講義への無料参加



学生から見た帝京公衆衛生大学院の特徴

- 文部科学省認定のSPHである。→特に国際保健分野で有利
(日本で4大学のみ(東大、京大、九大、帝京大))

- 1年でMPHが取得できる。

- 外部講師の充実

(丹後俊郎先生(生物統計)、渋谷健司先生(東京大学国際保健政策学教授)、錦織信幸先生(WHO西太平洋事務局)、田中剛先生(大臣官房 国際感染症対策調整室)、瀧本慎之先生(東京大学臨床倫理センター長)など。) 橋本英樹先生(東京大学医学系研究科保健社会行動学分野教授) など。)

第48回 アジア太平洋公衆衛生学術連合国際会議 (APACPH2016)

本学で開催されます



皆様のご入学お待ちしております。